

## 小正月行事「メージョウ」飾り

1月14日の小正月(旧暦で行う集落もある)に、村内各地の家庭ではメージョウ(餅花)が飾られました。このメージョウは、その年の豊作を作神様に祈願する地域行事で、柳の枝などにヒエ、アワ、サツマイモなどを混ぜて作った色とりどりの餅を大黒柱や各部屋などに立てて飾るといいます。

以前はどの家庭でも行われていましたが、最近では飾る家庭が少なくなってきたようです。今年は、昨年の災害を受け、特に豊作祈願と家内安全の思いが強く託されました。飾られる期間は集落によってさまざまですが、見る楽しさとともに食べる楽しみもあるこの伝統行事をいつまでも残していきたいものです。



▲椎葉勝さん宅(向山日添)に飾られたメージョウ。

## 新春を駆け抜ける「とびがち大会」

1月15日、上椎葉バイパスで第15回「とびがち大会」が行われました。この大会は、椎葉村青年団連絡協議会(椎葉幸治会長 会員53人)が主催したもので、自然豊かな椎葉路を走りながら健康増進と交流を図ろうというものです。

大会には、村内の小中学生や青年会員など約80人が参加。応援に駆けつけた保護者や地域の方々の声援を受けながら、参加者全員が一生懸命走り抜きました。本村出身で、昨年12月の全国高校駅伝に出場した甲斐みのりさん(小林高3年)や同校出身で今年1月の箱根駅伝に出場した山中貴弘さん(国士舘大)もかつて参加したこの大会。この子どもたちの中から、将来全国で活躍する選手が育つかも知れません。



▲椎葉路を元気に駆け抜けた子どもたち。

## 優しい手作り「指編み教室」

1月24日、村保健センター「すこやか館」ですくすく子育て学級が行われました。今回の内容は、村生涯学習推進委員を務める椎葉留美子さん(上椎葉下3)を講師に迎えての「指編み教室」。同学級には村内の親子12組28人が参加し、指導を受けながら子ども用マフラーを編みました。

指編みは目が粗い分、肌触りがふんわりとして心地良く、さらに道具を使わないため安全で手軽に出来ると、愛好者が年々増えてきているそうです。参加されたほとんどの方が初挑戦とのことでしたが、約1時間半ほどで完成。温かい手作りマフラーを巻いてもらって、子どもたちはとても嬉しそうでした。



▲毎回託児ボランティアの協力で安心して参加できる「すくすく子育て学級」。

## 県ラッパ隊フェスティバルへ出場

本村消防団で活動しているラッパ隊(鈴木克裕隊長 16人)は、今年1月から週3回の合同練習を村開発センターで行っています。これは、3月12日に宮崎市で開催される県消防団ラッパ隊フェスティバル出場に向けてのもので、それぞれの隊員は仕事を終えた夜に集まり、熱のこもった練習を続けています。

同フェスティバルは県内の各10支部で競い合う大会で、本村は日向支部代表として2度目の出場となります。同隊は鈴木隊長を中心に男性13人、女性3人で構成。各大会では会場を盛り上げる勇壮な演奏を毎回披露しています。皆さんもぜひ応援してください。



▲県フェスティバルへ出場する村消防団ラッパ隊の皆さん。